

栗駒山の火山活動解説資料（平成 29 年 6 月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図 1～2）
大柳に設置している監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。展望岩頭に設置している監視カメラによる観測では、ゼッタ沢上流で弱い噴気が認められました。
- ・地震や微動の発生状況（図 3）
火山性地震及び火山性微動は観測されませんでした。
なお、栗駒山周辺では、「平成 20 年（2008 年）岩手・宮城内陸地震」の余震域内で地震活動が続いています。
- ・地殻変動の状況（図 4、図 6）
火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

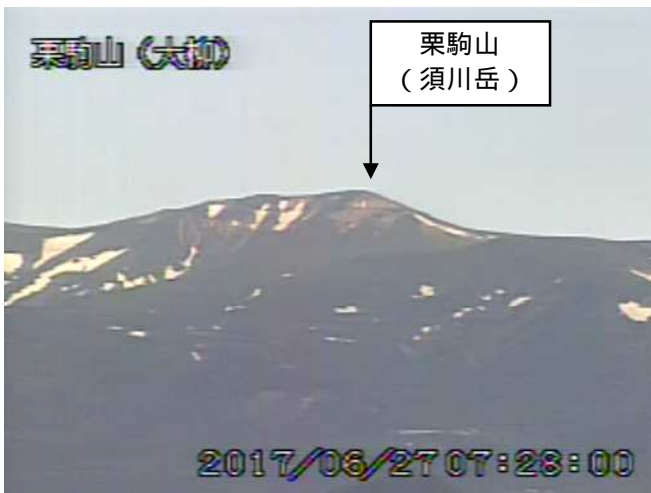


図 1 栗駒山 山頂周辺の状況（6 月 27 日）

- ・大柳（山頂の南東約 20km）に設置している監視カメラの映像です。



図 2 栗駒山 昭和湖及びゼッタ沢上流周辺の状況（6 月 25 日）

- ・展望岩頭（昭和湖の南南西約 900m）に設置している監視カメラの映像です。
- ・破線赤丸で囲んだ部分がゼッタ沢上流の弱い噴気です。
- ・レンズに水滴が付着しています。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 29 年 7 月分）は平成 29 年 8 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 26 情使、第 578 号）。

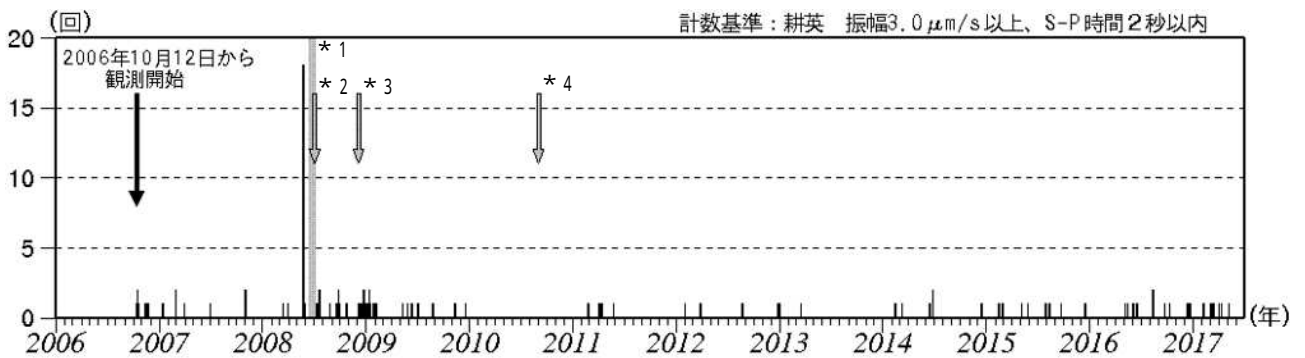


図3 栗駒山 日別地震回数（2006年10月～2017年6月）

- ・2006年10月12日から旧耕英観測点（山頂から南東約4km）で観測を開始しました。
- * 1 2008年6月14日から7月2日18時（図の灰色部分）まで「平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震」の影響により観測不能となっていました。
- * 2 2008年7月2日18時から小安観測点（山頂から北西約10km）で観測を開始しました。
- * 3 2008年12月4日から旧耕英観測点で観測を再開しました。
- * 4 2010年9月1日から耕英観測点（山頂から南東約4km、旧耕英観測点とほぼ同じ場所）で観測を開始しました。

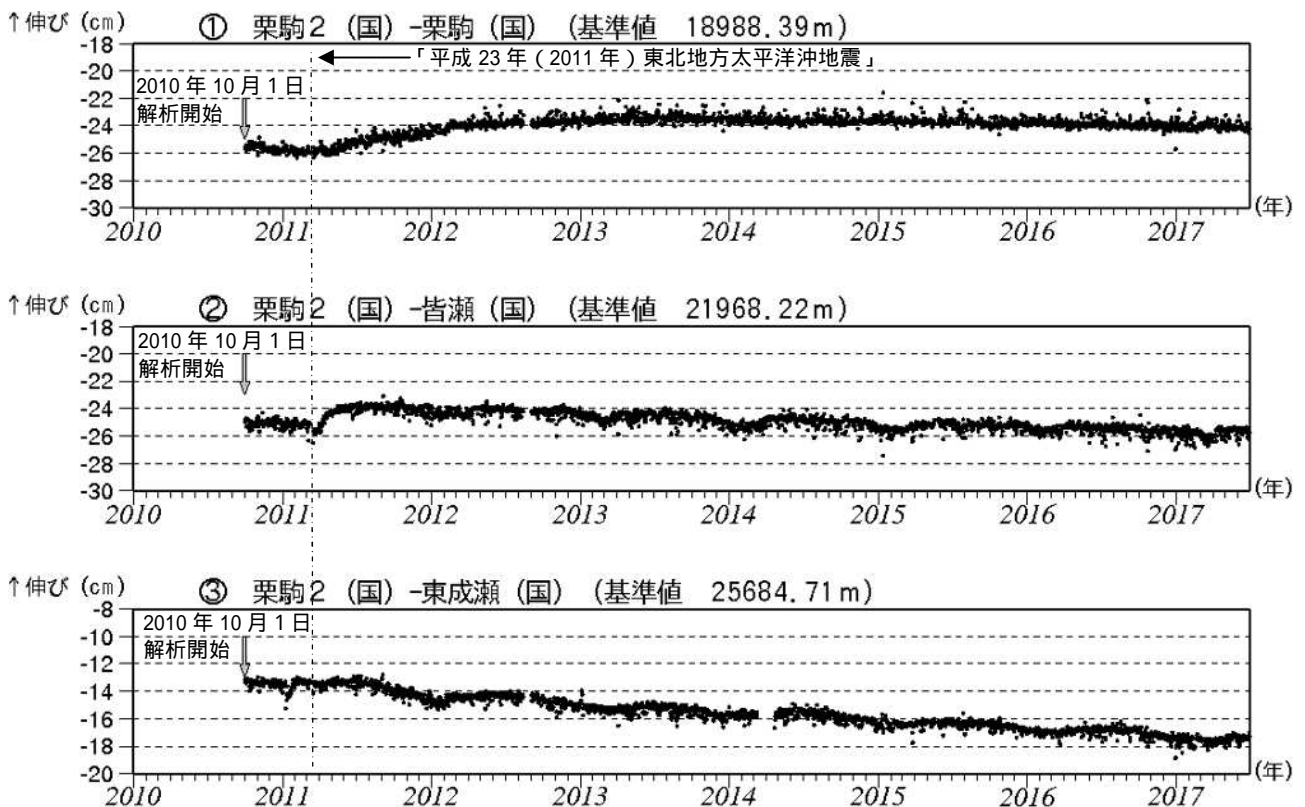


図4 栗駒山 GNSS¹⁾基線長変化図（2010年10月～2017年6月）

- ・「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
 - ・ ~ は図6のGNSS基線 ~ に対応しています。
 - ・ グラフの空白部分は欠測を表しています。
 - ・ 各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。
 - ・ (国) は国土地理院の観測点を示します。
- 1) GNSSとはGlobal Navigation Satellite Systemsの略称で、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示します。

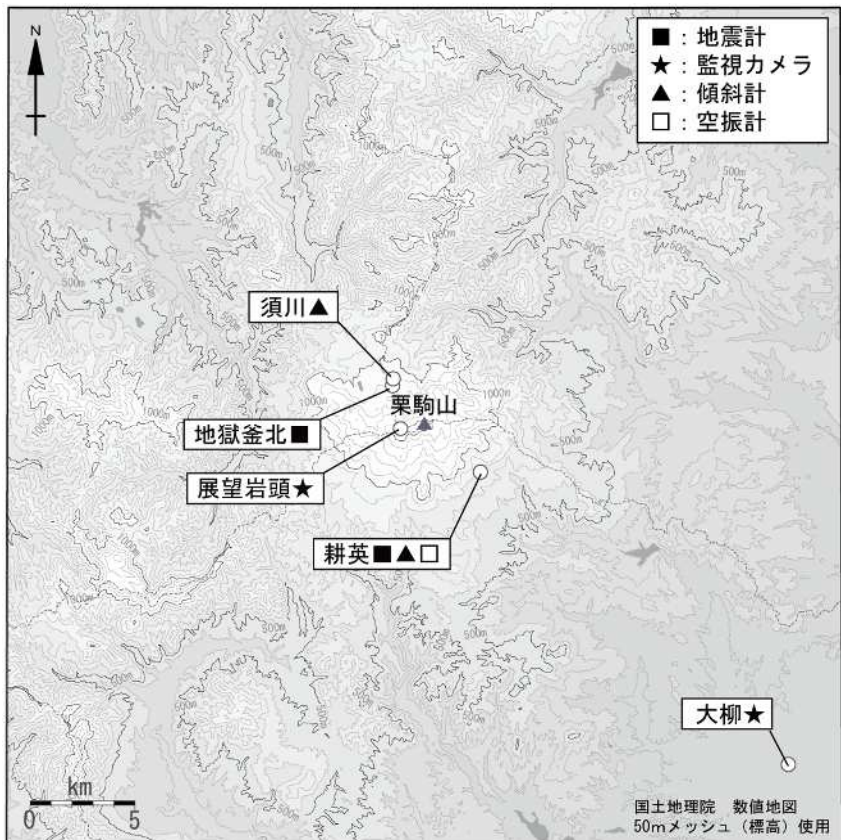


図5 栗駒山 観測点配置図

小さな白丸()は気象庁の観測点位置を示しています。

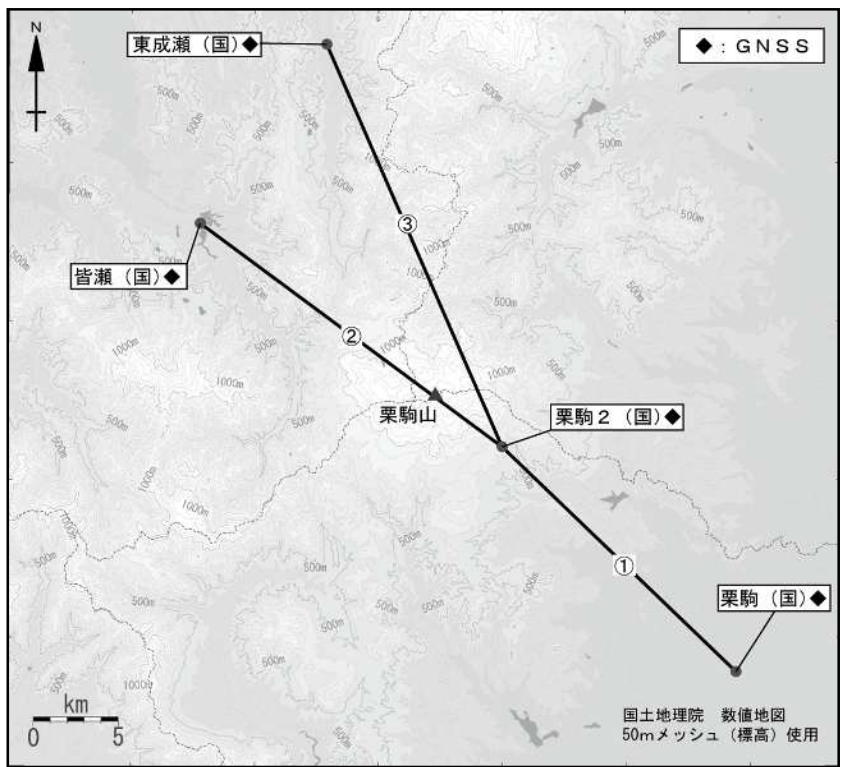


図6 栗駒山 GNSS 観測点配置図

小さな黒丸()は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (国): 国土地理院